

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然など生活環境を守り暮らしています	施策 主管課	生活環境課	施策主管 課長名	清水 正浩
	施策No.	4	施策名	循環型社会の構築	施策の 目指す姿	物を大切に使い、ごみの減量化に取り組んでいます	関係課名			
	現状と課題	・本市におけるごみの年間排出量及び市民一人当たりの排出量は近年横ばいで推移しています。 ・可燃ごみの処理については、平成27年10月から、岩手中部クリーンセンターで焼却処理が行われています。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) ごみの減量対策
○ごみの分別啓発
・家庭ごみの分別表、カレンダーを作成、全戸配付し、ごみの分別の徹底、再資源化について意識を啓発
○3R(ごみの発生抑制、再利用、再生利用)の推進
・ごみの分別収集効果を高めるため、資源集団回収団体に対し奨励金の交付や車両の貸し出しを実施
・水切り器を配布したモニター調査を実施し、生ごみの水切り効果の実証結果を市広報やホームページで公表
・市内小売店舗を対象に店頭回収の取組状況調査を実施し、調査結果に基づき、資源の店頭回収実施店舗に係る情報を市ホームページに掲載
○事業系一般廃棄物のリサイクル化への推進
・リサイクル化の推進の一環として、食品リサイクル法に基づく温泉施設等の食品廃棄物の再資源化(堆肥化)などに補助
(2) 廃棄物の適正な処理
○近隣市町との広域化による安定的かつ経済的な廃棄物の処理
・花巻市、北上市、遠野市及び西和賀町の広域的なごみ処理を行うため、岩手中部クリーンセンターで燃やせるごみの処理を実施
○ごみ処理広域化に伴う分別収集方法変更点の周知
・ごみの減量及び分別の注意点等について、出前講座での説明を実施
○清掃センターと最終処分場の適正な管理
・清掃センターの現状施設の適切な維持修繕及び最終処分場の埋立処理、浸出水処理の適正管理を実施
(3) 不法投棄の防止
○啓発活動とパトロール体制の強化
・地区公衆衛生組合と連携した不法投棄防止看板の設置による啓発活動及び不法投棄防止パトロールの実施
・不法投棄監視員を設置し、不法投棄の監視パトロール及び回収を実施

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)	家庭ごみの排出状況を示す指標	出典:生活環境課 年度における清掃センター搬入量を人口数で除した数値 =年間搬入量(可燃ごみ+不燃ごみ)/人口数	kg	目標値				166.3	164.9	163.5
				実績値	170.2	170.3	171.9	175.4	170.7	166.1
市内全事業所の一般廃棄物排出量(事業系)	事業所ごみの排出状況を示す指標	出典:生活環境課 年度における事業系収集業者が岩手中部クリーンセンター及び清掃センターに搬入した総量数値	t	目標値				11,865	11,249	10,633
				実績値	13,588	13,301	13,604	13,293	12,842	12,020
一般廃棄物のリサイクル率(家庭系)	家庭での分別・リサイクルの取組を示す指標	出典:生活環境課 リサイクル率=【資源集団回収量+資源ごみ】/総排出量(家庭系排出量+資源集団回収量)	%	目標値				26.2	27.3	28.4
				実績値	23.0	23.0	23.3	22.8	22.6	30.3
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「市民一人当たりの一般家庭廃棄物排出量(家庭系)」・・・【達成度 b】 しばらく横ばいの状態であったが、減少傾向に転じているものの、目標値には届かなかった。要因としては、世帯数の増加や経済活動の活発化によるごみ排出量が影響しているものと考えられる。</p> <p>■成果指標「市内全事業所の一般廃棄物排出量(事業系)」・・・【達成度 c】 しばらく横ばいの状態であったが、減少傾向に転じているものの、目標値には届かなかった。要因としては、事業系ごみの分別が不十分であると考えられる。</p> <p>■成果指標「一般廃棄物のリサイクル率(家庭系)」・・・【達成度 a】 平成28年度から岩手中部クリーンセンターで発生した焼却灰をリサイクルとしてカウントしたことにより、リサイクル率が向上したものである。しかしながら、スーパーマーケットなどでのポイント制などを活用した店頭回収によるリサイクルの取組が進められており、資源ごみの排出量は減少している。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	再資源化推進事業	生活環境課	A	B
	3R運動(ごみの発生抑制、再利用、再資源化)の推進及び資源回収団体への支援(413団体)			
2	不法投棄防止事業	生活環境課	A	A
	地区衛生組合と連携した不法投棄防止看板の設置(5枚)、不法投棄ごみの回収(4.4t)、パトロールの実施(5回) 不法投棄監視員の設置(5名)			
3	ごみ処理事業	生活環境課	A	B
	家庭ごみ分別表、カレンダーの作成配布や岩手中部広域行政組合への負担金の支出、花巻温泉廃棄物処理組合が実施する廃棄物処理費に対する補助			
4	ごみ収集運搬事業	生活環境課	A	B
	家庭から排出されるごみを収集し、可燃ごみは岩手中部クリーンセンターで、不燃ごみ及び資源ごみは、清掃センターにおいて処理を実施(ごみ収集量 17,434t)			

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ごみの減量が進んでいない。 ポイ捨てを含めた不法投棄が後を絶たない。</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) 生ごみの減量を進める必要があり、一般募集したモニターによる生ごみ水切り器の実践や出前講座などにおける簡易水切り器を配布し、体験により意識啓発を図る。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) 資源集団回収運動の活発化とごみの資源化・減量化を図ることを目的に、資源回収の成果が高い団体への表彰制度を創設し、意識高揚を図る。</p>

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・平成27年10月から岩手中部クリーンセンターが稼働しているが、構成市町からのごみの搬入量に応じて処理経費を負担することになるため、ごみの再利用、再資源化に努め、一層のごみの排出削減に努める必要がある。 ・不法投棄が後を絶たない状況である。</p> <p>(今後の方向性) ・岩手中部クリーンセンターに搬入するごみの分別について、引き続き説明会を開催し、また、それに併せて3R運動等の取組についても説明し、ごみの減量化に努める。 ・平成27年度に第2次花巻市環境基本計画及び第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定したことから、ごみの減量に向けた計画的な事業の取組を推進する。 ・不法投棄常習地の監視の強化と不法投棄防止意識の向上を図るため、不法投棄監視員を設置し、パトロールを継続する。</p>
--